

連盟ニュース

317

# 神奈川

# 6

2011.6.14



『初夏の蔵王』(宮城県・蔵王山にて) 撮影：鳥越章夫(<http://tory.com/>)



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座0015228

## 6月号( 317) 目次

## 《東日本大震災支援》

東日本大震災	東日本大震災の支援について	3
	農地復旧に向けた作業支援	3
	生活再建支援調査について	4
	東日本大震災ボランティア調査用紙・神奈川	5

「祈る」ということ 遠藤洋之(小田原ナーゲル山の会)8

## 《お知らせ》

第32期下期	神奈川県連盟臨時総会のご案内	6
平成23年度	県民協働登山道補修等技術研修会について	県保全センター 4
第14回	労山自然保護講座 秋季特別講座 の案内	4
第18回	全国ハイキング交流集会in伊豆(2011年)	6

## 《報告》

ハイキングリーダー	学校実技山行2/鷹取山	7
第34回2011丹沢	クリーンハイク速報・集計表	9
第34回2011丹沢	クリーンハイク第5・7回実行委員会	川崎柴笛クラブ 吉崎玲子 9
2011年原水爆	禁止国民平和大行進の参加者の感想文	13
新特別基金	についてのアンケート回答 中山氏記載	12
十日町池谷・	入山集落での地域おこし活動	中山建生 11
5月・6月	常任理事会議事録	16
5月	事務局長会議議事録	14
ナマステメール	ニュース5/31紹介	8
神奈川県勤労者	山岳連盟各会の活動報告と予定	18
	川崎労山、川崎HC、川崎柴笛、AC横浜、横浜HC、こぶし、藤沢山の会、相模AC、みずなら、カモの会、やま++、山ブキ、M&C	
登山時報	4月号紹介	7
県連のスケジュール	/全国会議行事予定	20



リュウキンカ(高山植物、山野草図鑑フレームより)

## 東日本大震災の支援について

2011年5月25日  
日本勤労者山岳連盟  
震災対策本部

### 1. 義援金について

現在、約1300万円の義援金が全国から集まっています。ご協力本当にありがとうございます。

このうち会員家族の死亡・行方不明について甲慰金を2万円、会員の家屋についての見舞金を全壊10万円、半壊・床上浸水5万円を第1次分としてお届けしました。

(岩手県連 家族死亡 11件、家屋全壊 12件、家屋半壊 11件 合計 197万円)

(宮城県連 家族死亡 5件、家屋全壊 6件、家屋半壊 14件合計 140万円)

別途、岩手・宮城の両県連宛に義援金として第1次(3月)50万円、第2次(5月)100万円をお届けしました。

今後も新たに判明した被災会員や被災会員の生活再建、被災地域の復興のために義援金を募集しますので、ご協力をお願いします。

### 2. 支援物資

震災発生直後から呼び掛けた支援物資は防寒衣料を中心に多くの会員から送っていただきました、ありがとうございます。コンロ・ガスボンベ、銀マットと共に被災会員と被災地域にお届けしました。

今後は被災会員から要望の多い下記の登山用品(被災地での日常生活にも役立つ)について、ご協力をお願いします。

登山靴・トレッキングシューズ、ザック、雨具、ヘッドランプの4品目。

新品・未使用もしくは、ほとんど使用していないものに限りです。わざわざ購入しないで下さい。現在、持っているが使用しないもの、または使用する可能性が少ないもので被災者に使ってもらいたいというものがありましたら全国連盟までお送り下さい。

支援物資は、地方連盟単位でまとめてお送り下さい。品名、サイズ、男女別など分かる範囲で明細をつけていただくとありがたいです。

### 3. ボランティア

5月の連休前後には多くの方に現地へ行っていただきました。本当にご苦労様でした。

引き続き、岩手・宮城・福島県などではボランティアを募集しています。

地方連盟単位でまとめて支援出来る場合は、全国連盟事務局にご連絡下さい。石巻市では被災会員の関係農協からボランティア募集の依頼が来ています。関東ブロックや滋賀・京都などで支援していただいています、他の地方連盟でもまとめて来ていただける場合はお願いします。

いし農本店発第76号  
平成23年5月19日

日本勤労者山岳連盟  
理事長 斎藤 義孝 殿

宮城県石巻市中里五丁目1番12号  
いしのまき農業協同組合  
代表理事組合長 斎藤 賢仁

### 農地復旧に向けた作業支援のお願いについて (ご依頼)

今回の東日本大震災により、本組合管内の農地も多大な被害を受け、現在生産活動の復旧に向けて取り組んでいるところであります。

このような中で、貴組織におかれましては、災害復旧の支援活動を当地で行われる予定となっていることから、農地の復旧について下記の内容でご支援を頂きたくお願い申し上げます。

#### 記

1. 期間：平成23年6月～7月
2. 支援依頼作業：農地の瓦礫撤去及び汚泥処理

問合せ先  
いしのまき農業協同組合  
園芸課：佐々木 敬(園芸課長)  
電話番号：0225・22・1191  
芳山窓口：岡 良一  
電話番号：090・3123・4806

**東日本大震災 被災会員の生活再建支援について**

地方連盟 各位

2011年6月3日  
日本勤労者山岳盟震災対策本部

2011年3月に発生した東日本大震災では、多数の会員が住む家を失ったり、また安定的収入の道を閉ざされたりしています。被災された会員を全国の仲間が支え、生活を再建し登山活動を再開できるよう支援を行います。

現在、集まっている全国からの義援金を被災会員の生活再建に役立てるため対象者を早急に把握したいと考えています。各地方連盟において今月中に以下の対象者を調査して全国連盟まで連絡して下さい。

**1. 対象者**

次の または に該当し、所属地方連盟の理事長が認定した会員で、当該地方連盟から所属会、氏名、適用理由が申請された者。なお被災が集中した岩手、宮城、福島のみに限定せず、全国を対象とします。

2011年3月11日に発生した東日本大震災（長野

県北部地震を含む）及びその余震により、居住している家が全壊または半壊の被害を受け、生活再建のために多額の資金を必要としている会員。

同じく震災に起因し、職を失うなど収入の道を断られた会員。

**2. 連絡メ初期日**

7月3日（日）までに下記の所定リストに記載して、全国連盟までメール・FAX・郵送でお知らせ下さい。

東日本大震災ボランティア調査用紙・神奈川を次頁に掲載。県連として6月末を目途にまとめる予定です。

**3. 支援金額と支払方法**

支援金額は対象者数と今後の義援金の集まり具合により決めたいと思います。支払方法は一時金支払いです。

**4. 問い合わせ先**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

日本勤労者山岳連盟

電話 03-3260-6331 Eメール

jwaf@jwaf.jp

**平成23年度県民協働登山道補修等技術研修会について**

1 趣旨 自然公園内の登山道の利用や保全等について関心のある県民や団体に対して、自然公園の保全と適正な利用について必要な知識や技術を普及し、県民協働による登山道補修活動への理解を深めるために研修会を実施する。

2 日時 平成23年7月10日（日）13時30分～16時30分

3 場所 県立秦野戸川公園パークセンター会議室（2階）

4 研修会テーマ 「登山道の保全と管理について」 新たな維持管理の提案

5 講師 北海道大学大学院地球環境科学研究院教授 渡辺悌二氏

6 参加者 市町村／丹沢大山ボランティアネットワーク会員／NPO法人みるく山の会／丹沢山小屋組合／自然公園指導員等／自然環境保全センター

**第14回労山自然保護講座 秋季特別講座 の案内**

上高地の自然環境・植生はどのように変化してきたか

講義＝「過去12000年間の上高地の自然変遷」

信州大学山岳科学総合研究所 河合小百合 特別研究員

報告＝「上高地明神池の二酸化窒素の測定結果について」

長野勤労者山岳連盟自然保護委員長 滝沢辰洋

日程＝2011年9月17日（土）～18日（日）

・2010年9月17日（土）12時 上高地西糸屋山荘に集合  
講義；13時30分～15時00分

報告；15時30分～16時30分

・2010年9月18日（日）～19日（月）

上高地観察オプション（18日昼食以降、宿泊などの費用は参加者負担）

上高地自然教室（18日日帰り）

涸沢～パノラマコース（18日朝発～涸沢（テント及び山小屋泊）～19日朝発・パノラマコース経由～上高地バスターミナル

18日・上高地～明神～徳本峠～明神～上高地（日帰り）

参加人数によっては、中止するコースもあります。

場所＝長野県上高地・西糸屋山荘 0263-95-2206・95-2208

講座参加費＝無料（現地までの交通費は参加者負担）

宿泊・交流会費＝9000円（一泊二食）

定員（25名）になり次第締め切らせてもらいます。

連絡先 日本勤労者山岳連盟・自然保護委員会

担当 浦添 嘉徳（うらぞえ・よしのり）

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号

電話03（3260）6331 Fax03（3235）4324

携帯 080-2055-3887

E-mail:yoshi.urazoe@fuga.ocn.ne.jp

東日本大震災ボランティア<調査用紙>			2011年5月11日		
(神奈川独自調査)			○で囲んで下さい		
			神奈川県連 事務局		
ふりかな			性別	生年月日	自宅電話
氏名			男・女	大・昭・平 年月日	
〒			携帯		
住所			携帯電話		
地方連盟名	神奈川県	所属会・クラブ		PC/FAX/L3	
ボランティア活動 保険(天災特約付)	既に加入済		参加前日までに加入手続をする		
	保険名/会社名 ( ) ( )		※ 各市の社会福祉協議会では負担の少ない最適なボランティア保険の申込ができる。		※ 未加入者は登録できない
希望する活動地	岩手	宮城	福島	( )	
活動できる時期	年月日～ 年月日			毎土日・毎曜日・休祭日	
活動できる期間	7日以上(日)		4日以上(日)		3日 2日・1日
移動手段	現地へ車で直行		現地へ公共交通で直行		現地へ団体車両で直行
ボランティアの経験	有	無			
運転免許	有( )			無	
宿泊	要	不要		※ 宿泊・食事など全て本人負担	
ボランティア活動のいろいろ。得意とする項目にチェックを入れて下さい。					
炊き出し	洗濯	配食サービス		知的障害者への支援	
付き添い	掃除	勉強等のサポート		内部障害者への支援	
入浴介助	片付け	引っ越し手伝い		精神障害者への支援	
遊び相手	買い物	高齢者への支援		身体障害者への支援	
安否確認	情報提供	外国人への支援		視覚障害者への支援	
物資の運搬	医療活動	理・美容サービス		聴覚障害者への支援	
物資の仕分け	移送サービス	話し相手/心のケア		乳幼児・子どもへの支援	
要望・ご意見をご記入下さい					
東日本大震災「ボランティア調査」にご協力有り難うございました。					
お寄せ頂いたご意見を参考に、神奈川県連としての方針を6月末を目途にまとめたいと思っております。					
(県連事務局郵員 西川憲男PC717ス:niskawanorio2001@yahoo.co.jp)					



### 第3 2期下期 神奈川県連盟臨時総会のお知らせ

開催日時 2011年9月1日(日) 17時〇〇分より22時〇〇分まで  
 開催場所 かながわ労働プラザ(石川町駅北口下車3分)

代議員は、会員10名につき1名、10名までの会は1名選出して下さい。但し、代議員は本連盟の理事・会計監査を除きます。

議案 3 2期下期活動報告と  
 9月以降の活動予定  
 神奈川県連盟規約の改正  
 神奈川県連盟規定の改廃



### 第18回 全国ハイキング交流集会in伊豆(2011年)

#### 実施要綱

日時 2011年9月17日(土)13:00~18日(日)12:00  
 集会終了後は、各自自由に伊豆の温泉や海山をお楽しみください。  
 会場 静岡県 伊豆長岡温泉(伊豆の国市)・公共の宿おとり荘  
 (静岡県中小企業従業員いこいの家) ホームページあり  
 参加費 13,000円(1泊2食付き)  
 日帰りは1日につき1,000円  
 交通 東海道新幹線・三島駅乗り換え 伊豆箱根鉄道「伊豆長岡」駅より徒歩15分  
 長岡駅と三島駅から送迎バスを出す予定(参加者に後日通知します)  
 車で来られる方は東名高速・沼津ICより40分  
 主催 日本勤労者山岳連盟 ハイキング委員会  
 主管 静岡県勤労者山岳連盟  
 テーマ 「ハイキング文化を次代に引き継ぐために、いま何をなすべきか」  
 講演 (検討中)  
 分科会 (以下は案ですので、変更の可能性があります)  
 会員拡大と後継者育成  
 事故防止、リーダー養成と会員教育  
 会運営と楽しい企画の立て方  
 募集 100名  
 申し込み 参加申込書を労山全国連盟事務局に郵送、FAX、メール等でご送付ください。  
 参加費振り込み先は、申込書受付後、ご案内します。  
 問い合わせ 全国連盟03-3260-6331 ハイキング委員会まで

#### 参加申込書

地方連盟 【代表者】 氏名 電話 メールアドレス  
 参加者名 住所・電話番号 男女 年齢 分科会  
 日帰り参加の場合は、その旨を記入してください(食事は付きません)  
 送付先: 郵送 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号  
 日本勤労者山岳連盟・ハイキング委員会あて / FAX 03-3235-4324 / メール jwaf@jwaf.jp  
 申込書受理後、参加費振込の案内をします

## HCL学校実技山行2 / 鷹取山

初めての岩場トレーニングということもあり、不安一杯で参加しましたが、最後までそれは払拭されませんでした。有意義な一日となりました。ハイキングでも必要なロープワークの知識と技術、よく使用されるロープの結び方は、ハイキングのみならず、緊急時などの日常生活でも役に立つのではと思いました。

軽くストレッチ体操を行い、一日のカリキュラムの説明、講師のかたの役割の説明もなく、トレーニングが開始されましたが、数名の講師の方による親切な指導があったので、なんとか？終わることができました。

講師が言うには、トレーニングを行った岩場は、高さ5m位、傾斜は75度位とのことでしたが、初心者の中には垂直に感じ、高さ5mは、下からから見れば何でも無い高さに感じるのですが、登って上から下をみ

ると、足がすくみ下を見ることができませんでした。

トレーニングの中で感じたことは、講師の方によって用語が違っていたので、山岳界では各種方言があるのだな。ということを実感しましたので、コミュニケーションをとるときは気をつけようと思いました。

一生懸命に教えて下さった講師には申し訳ないですが、教えて頂いた100のうち30位しかできず、そのうち10位しか身につけませんでした。というのが素直な実感です。

今後の初心者のために、恐怖感の無い高さでのトレーニングをしたあとで、実施トレーニングをすると良いと思いました。今回は、恐怖感が先にたち、ほとんど何もできずに終わってしまいました。

最後に、講師の方々、親切に教えてくださり、どうもありがとうございました。

横浜ハイキングクラブ 稲垣



### 登山時報 6月号 目次

西北ネパール 辺疆に魅せられて

大西保 03

連載 クイズ地図読み迷人

村越真 宮内佐季子 09

野鳥との出会い アカショウビン

福井壽彦 小枝琢三 10

シグナル 大震災と原発、

そこから見た日本と世界は 斉藤義孝 12

東日本大震災 岩山第二次支援隊

浦添嘉徳 13

被災会員の声

14

岩手県連・釜石岩山から

大沢研一

宮城県連・石巻岩山から

岡良一

原発事故の地元から

村松孝一

長期連載3 / 東京・奥多摩特集 奥多摩の

人たちの「奥多摩」 奥多摩取材班 18

新規加盟団体の紹介 アルムクラブ 23

上高地から六百山 滝沢辰洋 24

山のファーストエイド vol.4 恵秀彦 26

JWAFクリック 28

連載 碧い南の島だより 兩宮節 30

全国連盟の活動 31

専門委員会活動報告 32

編集後記 34

インタビュー ひと 後藤政志さん 35

地元会員特選ミニガイド 36

新潟・勝山/鈴木義男

福岡・前門岳/吉野和記

ブックエンド 『空白の五マイル』他

角幡唯介 他 38

会報えつらん室 花村哲也 40

オススメ山道具 震災に使える山用品

あかり編 笹原芳樹 42

## 「祈る」ということ

遠藤洋之(小田原ナーゲル山の会)

人は、祈る。

人は、自らの無力を自覚し、祈る。

宗教を持たずとも、神の姿がおぼろげに見える。

だから人は祈るのだ、と私は思う。

我等が丹沢、塔ノ岳。皆さんにもお馴染みのピークではあるが、そこに石仏郡が鎮座していることをご存知だろうか？記念写真の定番であるピークを記した木製の標識の北側にそれらはある。東を向いて並ぶ数体の中心に石版があり、「丹沢山 東光院」と刻まれている。東光院は山北町にある。近隣に住む当会の会員が子供を通じてこの寺との交流を持ち、それがきっかけでポッカのお手伝いをさせて頂いている。メインイベントは塔ノ岳山頂での「安全祈願祭」なのだが、石仏の設置や周辺の整備作業が毎年あり、石仏、レリーフ、それらの台座、セメントなどを持ち上げなければならず、祈願祭に使われる道具類やお神酒と共に我々の背に託される。今年は県連からの応援も頂き、6名で交替しながらまずは行者岳のピークを目指した。

晴れ渡った空の下を涼やかな風がそよいでいる。5月8日朝、東光院に集合した我々は荷物を振り分けてから県連組と合流する戸沢へと出発した。昨秋の台風による大雨でかなり荒れた林道も、若干持ち直しているように感じた。到着後、荷物を更に細かく分け、大物のレリーフ(23kg)を6名でローテーションすることを確認し、優しい色合いの新緑に誘われるように、政次郎尾根に踏み込んだ。東光院の方々は山伏姿で

法螺貝を携帯する。登山開始や休憩後にレリーフを交替する時など、都度法螺貝の音色が響き渡る。ポッカ自体は気楽な「お手伝い」だが、寺関係者の方々にとっては神聖な行事なのだ。自然と謙虚な「祈り」に対し、頭を垂れる。初参加の方も臉を閉じて手を合わせ、神妙な面持ちで「気」を受けていらした。自分や仲間の無事は誰もが願うが、山の安全を祈念する神聖な空気には自ずとリスペクティブになる。かく言う私も特に宗教は持たず、都合の良い時にだけ「神様！」を連呼する不埒な生き物だが、こういう場にいるとちゃんと神妙な気分になる。八百万の神様は誰の心の中にもいらっしやるのだ。

行者岳の山頂に不動明王のレリーフを設置し「開眼祭」をしている間にも、一般の方々の手を合わせてお祈りをして行く。明確な「神」の姿が自分の中になくとも、人は自然を畏怖し思わず「祈り」を捧げるのである。自然は人を裏切らない、とか自然は嘘をつかない、などという人がたまにいるが、私はそうは思わない。自然はそこにあるだけなのであり、人と契約をしたり約束をしたりすることは決してない。自然を美化するのは自由だが、そこに人間の驕りがあってはならない。人間も自然の一員だからだ。梅の花が桜の花の華やかさに嫉妬するだろうか。その前に、桜のほうが華やかだと感じる人の心が自然を不当に評価してはいないだろうか。

だが人は祈る。自然の中で祈るのは(たぶん)人間だけである。自分が自然の一部であり、抗うことの出来ない運命に従うしかないことを理解しつつも。

塔ノ岳山頂での安全祈願祭。多くの方々と共に山の安全を祈らせて頂いた。周囲の山々はいつもと変わらず、そこにあった。

### ナマステメールニュース Vol.31 2011/05/31

#### 目次

- 1: 第18回全国ハイキング交流集会の案内 全国連盟ハイキング委員会
- 2: 2011年 指導者セミナー実施要項 労山中央登山学校(再録)
- 3: 東北の山岳ライブ映像情報(画像・動画)
- 4: ニホンジカによる日本の植生への影響 植生学会全国調査
- 5: 山の高度別の気温などの気象予測値情報(10)日

#### 本気象協会

- 6: 平成23年度高山植物観察山行 日本高山植物保護協会
- 7: 地方・山系別リアルタイム雨量情報(No.14)
- 8: 東日本地震被災地支援情報
- 9: ナマステとコンテンツ館が全国で利用できます(再録)
- 10: トピックス 集めてます!子どもの本と遊び道具・群馬労山



## 第34回2011丹沢クリーンハイク速報・集計表

「2011丹沢クリーンハイク」は雨の中で行われました。79名の参加者で行われました。水質調査23名、林道清掃34名、本部要員実行委員15名、救助隊7名です。燃えるゴミと燃えないゴミとで、75,4kgを集めました。

参加された皆さまありがとうございました。

清掃場所	山岳会名	参加人数	燃えるゴミ	燃えないゴミ	合計
戸川林道	川崎ハイキングクラブ	4	31.5	33.2	64.7kg
	アルパインクラブ横浜	1			
	神奈川大学ワンゲル部	8			
	みずなら山の会	5			
	雪童山の会	5			
	M&C	1			
西山林道 (二俣まで)	やま++	1	0	9.1	9.1kg
	川崎勤労者山岳会	6			
戸川公園周辺	藤沢山の会	2	0.3	0.1	0.4kg
大山	柴笛クラブ	1	0	1.2	1.2kg
合計		34	31.8	43.6	75.4kg

### 第五回 クリーンハイク実行委員会議事録

日時：2011年5月9日

場所：県民サポートセンター

出席者：渡辺(相模AC)・永井(カモ)・大用、鈴木千佳子(川崎HC)・磯部(地平線)・高橋勇三、萩原(藤沢)・三上、高橋美鈴(こぶし)・伊藤(横浜HC)・関根、千葉(みずなら)・黒井(雪童)・仙頭(AC横浜)・森谷(ナーゲル)・北野(緑星)・青柳(山ブキ)・岡崎(M&C)・長野(川崎労山)・海輪、吉崎(柴笛)

現時点での、震災と原発の影響によるクリーンハイク中止はなく、実施する方針。

山小屋挨拶とコース下見の報告

4月29日 参加者：大用、萩原、他1名

コース：鍋割山・塔ノ岳・大倉

連休初日のため、入山者が多いにも関わらず、登山道にゴミはなくきれいだった。西山林道にはゴミが多かった。鍋割山荘主の話は聞けなかったが、コース上危険箇所はなく、ヒルもいなかった。

堀山の家の下の辺りに少し、ゴミがあった。

5月5日 参加者：渡辺、関根、永井

コース：ヤビツ峠 - イタツミ尾根 - 大山

大山山頂で神社と売店に挨拶。山頂と売店直下の斜面にゴミが多い。ただし、危険がともなう斜面のゴミは、無理をしない範囲で拾って欲しい。一般参加者の参加は注意が必要。十六丁目分岐にあった売店跡のゴミもきれいに無くなっていた。休日は家族連れが多い。

高橋勇三さんからの報告

チラシを、大倉バス停の案内所と観音茶屋へ置かせてもらい、見晴茶屋の掲示板へぶら下げた。その後確認したところ、四日間で二十枚くらい無くなっていた。その他、県庁農水課、七沢の自然環境センターへ郵送した。

チラシの印刷がもう少し早いと良いと、感じた。ゴミ収集の依頼文書を秦野市へ郵送済み。

大倉のゴミ集積場所は昨年位置から変更となり、有料駐車場に入ってすぐ左、観光バス駐車エリアとなる。トイレの山側のところ。場所の見取り図を清掃局へ郵送済み。

不動尻は昨年と同じ場所。ヤビツ峠はトイレの横。

救助隊長 海輪さんのお話

救助隊は側面的支援を行う。各地点に腕章を付けた隊員を配備し、大倉本部と無線中継を行う。各地点を通過するパーティーには、協力をお願いしたい。危険なところへ不用意に踏込まないよう注意し、安全に進めてほしい。

伊勢原出発パーティーの出発状況・・・三上さんから渡辺委員長へ電話連絡

不動尻下山パーティーの下山連絡・・・大用さんから渡辺委員長へ電話連絡

丹沢山コースパーティーの折り返し連絡・・・無線連絡。無線機は救助隊のものを貸与

救助隊員は、救急用具と補助ロープを持っている。

雨天時の大倉尾根清掃範囲は、堀山の家まで。厳守。

雨天時のコース割りあては、次回の実行委員会を決める。

不動尻コースは、唐沢峠先の分岐が分かりにくいので、相模ACと川崎HCは一緒に行動すること。

登山道整備の参加予定 AC横浜・・・2名 藤沢山の会・・・6名

#### 要員の配備

大倉本部受付・・・実行委員 渡辺・高橋勇三・関根・伊藤・大日向・森谷・山ブキの会 宮沢・金沢・佐藤

ヤビツ峠受付・・・終日組 永井・吉崎

清掃へ参加組 大用・黒井・北野

大山山頂・・・大用

伊勢原駅受付・・・三上(受付終了後ヤビツ峠へ)・川崎HC一名

一般参加の対応 三上、吉崎で分担

次回 最終ミーティング 5月23日(月)19時30分～

県民サポートセンター ミーティングルーム604

### 第七回 クリーンハイク実行委員会議事録 クリーンハイク反省会

日時：2011年5月31日

場所：県民サポートセンター

出席者：渡辺(相模AC)・大用(川崎HC)・磯部(地平線)・高橋勇三、萩原(藤沢)・三上、高橋美鈴(こぶし)・伊藤(横浜HC)・関根、千葉(みずなら)・黒井(雪童)・大日向、仙頭(AC横浜)・北野(緑星)・青柳(山ブキ)・岡崎(M&C)・吉崎(柴笛)

#### 渡辺実行委員長総評

昨年に続いて今年も雨となり、残念ではあったが、事前に雨天時の対応を決めていたので、少人数ながら実施出来て良かったと思う。

#### 報告 - 雪童山の会

勘七沢の水質調査の際、先行会員の起こした落石を

避けようとした後続会員が、1mほど滑落し右手首に裂傷を負う。その他、擦り傷あり。下山後、病院にて数針縫合。県連に報告済み。全国連盟に報告予定。

#### 感想など

- ・学生さんがとても熱心で感心した。
- ・ヒルが多くて難儀した。
- ・雨の中でも、思いの外ゴミが拾えた。
- ・荒天予報のため、前夜祭と登山道整備の中止の判断がとても難しかった。
- ・土曜日の気象予報を待っていては、間に合わない。
- ・清掃局への清掃中止の連絡も、週明け早朝に行う必要があり、タイミングが難しい。
- ・戸川公園内にも、見えないところにゴミが落ちていた。
- ・受付に人が多すぎた。
- ・救助隊の方が朝の集合が早く、申し訳なかった。
- ・雨のため、沢の水質調査は落石の危険性を感じた。

#### 反省と次回への申し送り事項

- ・五月末は雨天やヒルの心配が多い時期なので、秋や春に開催時期を変えてはどうか。
- ・雨天の場合は決行ではなく順延としてはどうか。
- ・雨天の場合の予備日を設けてはどうか。
- ・一般参加者への対応を、どのようにすればよいのか、分からなかった。
- ・参加中の事故や怪我については一般参加者の自己責任だが、会員も援助をして、安全性に気配りをして欲しい。一般参加者への対応は、今後の検討課題(渡辺委員長)
- ・山小屋周辺にごみが多いので、小屋の協力も得て、集中的に行ってはどうか。
- ・各会の水質調査の計画書を、当日の山行管理者も持つ様にしたい。
- ・水質調査を行う各会は、大倉待機の山行管理者へ、入山・下山連絡を行う。
- ・登山道整備の計画書を出した方が良い。
- ・一般参加者の名簿を、参加コースに分けて作成する。
- ・クリーンハイク以外でも、ゴミ袋やパンダナなどを、ボランティア行事に活用して欲しい。
- ・自然保護につながる活動をした場合は、自然保護委員会へ報告をお願いしたい。助成金が得られる。
- ・登山道整備を、年内、日を改めて行ってはどうか。
- ・全体中止の基準を決めて、それをチラシにも明記する。(例：降水確率80%以上の場合は中止。など)
- ・直前の金曜日に、臨時委員会を開ける態勢としてはどうか。

#### 報告集作成について

- ・はじめの言葉・渡辺委員長
- ・写真と感想文の締め切り・・・6月中 メーリングリストへ送る。
- ・7月中に発行予定。

- ・折込みの作業の時期・三上さんよりメーリングリストへお知らせ。協力して行う。
- ・今回のチラシを報告集へ掲載する。

メーリングリストについて

クリーンハイク実行委員会のメーリングリストは、8月頃閉鎖。  
今回参加の実行委員さんには、自然保護委員会メーリングリストへの参加をお願いしたい。  
本日の反省会参加者は全員参加了承。

## 十日町池谷・入山集落での地域おこし活動

2011.5 中山建生

2004年の中越大震災から、今年で7年になります。私は雪崩や雪の中での事故防止、安全教育をすすめる中で6年前から「雪下ろし」中の事故を無くそうとする人たちと一緒に活動をしています。この池谷という集落は今では7軒の家族が住む高齢者の山村といってもいいでしょう。震災により周辺の山地は崩落、田圃は水が抜け、水路は崩壊しました。もちろん県道につながる道は寸断、家の多くは半壊し、被害のひどかったこの上にあった集落は離村しました。ここ池谷は少しずつ変わりはじめています。昨年若い夫婦と子供がここに移住してきたのです。

今年3月、東北地方太平洋沖大地震が発生し、東北地方の各市町村は壊滅的な打撃を受けました。連日被災者の様子がテレビで放映され、加えて福島第一原発の事故が起きたことで一層深刻な事態を向かえました。国や県は災害の復興支援や救援活動の取り組みを開始しました。復興支援に関わる各地からボランティア(医療・建設・運送組合ら)を開始しています。

この所、被災地への災害救援、そして中長期にわたる復興支援活動とは、私たちができることとはなにかを具体的に考えていました。当座は被災者の救援救助、義援金の募集と不足する物資の搬送になります。その後は個人、団体ともに地域おこし、集落の自立のために力を尽くす活動を継続することになると考えています。震災直後はだれもが緊迫した意識の中でなにかをしたいと行動します。問題はそれからにあると思います。この池谷集落にしても若者が住むには生活の糧になる手段がありません。年寄だけが残され、この村を守り生きて行きたいとの気持ちをつよく感じますが、草取り、田植え、刈取、やがて冬になると家も道路も深い雪で埋められます。屋根の上の雪を放置すれば家がつぶれてしまうため、雪下ろしと道路の除雪をしなければなりません。私の関わりは雪下ろしの事故を無くすことと、屋根の雪下ろしをして帰ります。しかし、これだけでは村に活力を生み、人が生活することができません。今、この地域の出身者と現地の人たちが力を合わせて地域実行委員会を立ち上げています。その活動は下のとおりです。

- (1) 中山間地での営農生計の確立
- (2) 担い手、後継者の育成・受け入れ環境整備
- (3) 耕地・山林の維持・整備
- (4) 古い建物など、地域の大切なものを守り受け継ぐ
- (5) 日本全体の問題(限界集落・食料・環境)に挑戦

と目標をかかげて、年間を通じてたくさんの人たちがこの活動を支援し加わっています。去年は5月に池谷を訪れました。雪下ろしの場所、雪洞の場所、危険のない場所を予め見ておくことでした。帰りに山菜をたくさんもらって帰りました。ボランティアに参加をした人たちの山菜ハイキングも企画され何人かと話をすることができました。都市に住む私たちがこうした集落に住む人たちとどのように関わるのかは大事なことです。善意の押しつけや一方的な思い込みは役に立たないのです。しかし、こうしたことは現地でのさまざまな体験と住む人たちとの心の交流無くしては生まれません。さらには近くに住む人たちの連携も必要です。農業生産や生産物の流通、販売など一集落だけでは限界があります。私が関わられるのは集落の防災教育、雪おろし作業の安全実施、そして上記の(3)、(4)、(5)に関わる、ことと考えています。そのために今年の冬からの日程を入れました。5月と6月には池谷に出掛けてみようと思います。

越後川口町木沢の人たちとも出会う

以前から雪下ろしの活動に取り組む人に、越後川口木沢にも参加をしてもらえないかと話がありました。この地は中越震災の震央で大きな被害を出したところです。皆さんのよく知る山古志の隣集落です。私は2月雪の降る中を川口に向かいました。手元の地図は明瞭でも雪のなかの回廊をぐるぐる回る内に行き止まり、また戻って峠の方に向かいました。ここから先は行き止まりとなり、集落の散在する所に戻って「川口木沢とはどこですか」、「今日から雪下ろしのボランティア活動が始まります。それに参加をしました」。少し雪が小降りになり、周りが見えて家の軒並みが集まった場所だということが分かりました。「その少し手前だよ。今、車を停めるところを作ってやるから待ってる」と言われ、集会場に入れてもらいました。ストーブを付けても冷え冷えとすぐ近くでようやく暖を取り、しばらくはどうなるのだろうかかと黙っていました。やがてスタッフひとりふたりと駆け付けてきました。

この地は池谷と違うのは集落の規模が大きく、全体での村おこし、町おこしが容易ではないと感じました。行政と地域の連携、自立の方向、地域の特徴を見極める、人材と資源・・・初めての参加からこんなことを感じ取り、自分なりに次の活動をイメージして見ました。この集落から少し下ったところに川口の温泉があり、そこから信濃川の河岸段丘を見ました。いい所だなと感じました。温泉から戻り、夜は地域の人たちとの交流の場となりました。餅つきや夕食の席で震災の様子を聞きました。村おこし

に取り組む様子も聞きました。翌日は震災を想定した雪下ろしと安全作業、雪のなかに埋められた人を捜し出して安全な場所に移動することも体験してもらいました。一日が終わり元気のいい人たちは地域の人の家に行き、大騒ぎをしたようです。かまくらの中で飲み比べをした人もいました。私は疲れて先に寝てしまいました。

2泊3日もあっという間に終わり、ここでの体験をまとめて主催者に報告書を送りました。現地の村おこしについても担当者に感想と意見を送りました。震災後の復興支援に関わって思うことは臆せずに参

加をしてありのままを見る、現地の人たちの生活や振る舞いから何を求めているのか感じ取ることでしょう。何年か関わるうちに心が通い、そこから次の一歩が見つかるでしょう。私たちが必要以上に構えたり、善意をちらつかせないだけの分別が必要です。時にははみ出しても暖かく見守ってくれます。素直で正直であることを忘れなければいいと思います。

福島、宮城、岩手の人たちと連帯した中長期の支援活動はこれからです。私のわずかな経験、十日町市池谷集落と越後川口木沢の人たちとの自立を願う多くの人たちの関わりの一部を伝えます。

### 新特別基金についてのアンケート回答 2011/04/18

所属連盟(神奈川県) / 役職名(会長) / 氏名(中山 建生)

- 1 現状の問題点や課題、改善点についてどのように考えていますか。(意見とその理由をできるだけ簡潔に)

救助・捜索の費用について

山岳団体としての第一義的な使命は遭難事故防止であり、次に万一の場合に備えての対策、救助活動と経済的な負担を軽減ないしはなくする制度を自前でもつことです。将来的には国や地方自治体の援助、さらには制度的な保証を求めるべきでしょう。

救助・捜索の費用についてとの設問には、例えば直接的な費用だけでなく、間接的、ないしは後方支援の負担をもカバーするという意味を含むのでしょうか。登山者の自らの責任と負担、組織や制度が追うべき責任と負担を事例にそって議論をするよう求めます。

ドア・ツー・ドア

一般的な傷害保険と同等に扱うという趣旨なら是認です。

山岳遭難に関するものとするれば登山活動ないしは登山中の行為に限定すべきです。これも具体的な事例をあげて検討すべきです。例えば家を出るときに飲酒、途中で転んだという事故は原因が飲酒にあるからです。

3倍交付

ハイカーの加入を促進するために特例を設けた制度で、当初の目的を連したものと考えます。登山とハイキングの区別も合理的なのが疑問があります。この制度は廃止して良いと考えます。

その他

そもそも特別基金の目的や趣旨がきちっと理解されるような学習の場を設けることを求めます。会員の多くは一般の山岳保険と見ているからです。

- 2 現行の遭難対策基金制度との関わりで、個人会員制を論議する際の検討課題や疑問点などについて、どのように考えますか。

私が接してきた個人会員制度に興味を示した人たちは、自力では捜索救助ができないから万一の時は助けてほしい、金銭的な負担も軽くなるなら加入したいとするもので、会の活動や連盟の活動には積極的に関わりたいとする意志はありませんでした。

今日、丹沢や奥多摩に登る人たちがどのような要求をもっているのか聞き取りをしていませんので変化があるのかどうか分かりません。山岳団体の役割や責任を問うなら地方のレベルでの組織の強化や会員拡大についての具体的な情報を公開してください。

- 3 安全対策基金についての意見、感想、要望

安全対策基金について これは目的をもった基金であり、一般的な連盟の活動援助金ではないと考えます。請求する場合に趣旨を明らかにすること、使用後は支払い内容を報告することで、基金の制度が生きていることを連盟員に伝え、制度の趣旨を生かすよう連盟員に働き掛けをしてほしいものと考えます。

全国の予算組にかかる前に地方からの請求をなして、これを検討して報告するのが望ましいと考えます。

- 4 その他について(まとまった分量の意見は、1ページ以内にまとめてください)

特別基金に関する会議の内容が4点あります。事前にその概略を報告していただくことで当日の討議、質疑が成果をあげるものと考えます。また前回までの討議や疑問点など要点をまとめていただくようお願いをするものです。多くの会議で、引継ぎや資料の整理は主催する側で用意するのが順当だと考えるからです。参加者に用意させるものを、事前に読ませるものを特定して準備を円滑に進められるようにと望みます。

## 国民平和行進に参加して

田村 和寿（神奈川県連副理事長  
相模アルパインクラブ所属）

「国民平和行進」：存在は知っていたが、興味はなかったし、出ることもないと思っていた。しかし全国理事会で労山として長いこと取り組んできた活動であること、各都道府県間で旗を引き継いでゆくことの重要性を知り、5月7日（土）の東京からの旗の受取に参加した。

京浜急行の六郷土手駅で降りると、ノボリや旗を持った人が大勢いる。その流れに乗って歩くと、すぐ公園についた。労山は自分一人かと思っていたが、宮澤さん、磯部さんが来てくれた。

東京から来た人々の数の多さに驚いた。神奈川はその後ろに続いてさらに大人数になる。六郷橋では歩道を歩いたが、神奈川県に入るとは警察の先導で車道を一車線占有させていただいく。



川崎駅の繁華街を周遊したのちに川崎市役所に行き、そこで本日の行進の終了、旗の引き継ぎとなった。東京からは斉藤理事長が参



加していた。

最後に、文頭でこのような活動に興味はないと言ってしまいましたが、「核兵器廃絶」に向けて気持ちを持ち続けることと、それをアピールすることは重要であると、考えを改めるようになりました。

5月11日は自宅そばの海老名市役所出発だったので午前中のみ同行するつもりでしたが、天気が悪かったため、朝の出発式にのみ参加しました。

（写真は新スポーツ連盟の吉成さんからいただきました）

## コース上大岡～金沢区泥亀公園

5月13日(金)快晴 池上 準子

前日の雨で旗(3枚)がビショビショ、リュックの中に水が溜まるほどで、女の力ではポールに付けて持つのは無理、横浜HCの会から2人で参加したので助かりました。2人で端を持って乾かしました。

平和行進・・・今この原発事故の状況下に何か行動しなくては、声を挙げなくては、と参加させてもらいました。「全国通し」の行進者は鎌倉の石崎さん、「県内通し」の行進者は保土ヶ谷の伊藤さん他2名。「全国通し」は3ヶ月かかり経済的にも自己負担できついか。定年退職した今だから頑張ってみようと思う、と話されていました。

休憩場所のコープ笹下店、六浦店でスイカ、バナナ、菓子、冷たい飲料等、心のこもった持て成しに、疲れた(暑かった)身体には嬉しく沁み通りました。

平和行進は、半世紀以上に亘って実施されていますが、私が横浜HCに入会してから平和行進に参加していませんでしたので、5月の事務局長会議で取り上げた時、各会の事務局長にうまく伝達する事が出来たか、気になります。

神奈川県労山としての取り組みは、東京から静岡へ旗の受け渡しをする事で、居住地を歩くのですから早めにコースをお知らせして、各会から何人でも参加出来る様にするとう意義な行進となると痛感しました。

来年の役員の課題として考えなくては。

以上



## 平和行進、神奈川から静岡へ引き継ぐ

2011.5.19 中山 建生

今年は3月の東日本大震災により福島、宮城、岩手の人達は大きな被災を受けた。そして福島原発の放射能汚染事故はさらなる被害を拡大した。ここ神奈川でも横須賀に住む会員から、原子力空母と原潜の危険について不安を感じていると報告があった。三浦半島には大きな活断層があり地震への恐怖もまた強いものがある。東日本大震災の時、1.8mの津波が押し寄せたことも単なる不安ではなく危機意識をもたらした。

自然災害は日本のような地震国ではこれを当然のものとして考え、最善の備えをすることが被害を押しさえることになる。昨年と違ったのはこの危機に対して、漠然とした不安や理屈の上での反対ではなく、身に迫った現実問題として湯河原市民に訴えをした平和行進となった。

マイクから流れる声も説得力を持ち、生協の若い人達もたくさん参加した。反面、いつも先頭を行進していた被爆者の人達が減ったように思う。神奈川での行進は5月7日に東京から引き継いで、今日=19日に静岡の仲間「核兵器廃絶」の旗と「平和と登山」の旗を静岡の今井君に渡した。

宍川の神奈川の参加者が残したノートには、山田、磯部、池上、保、角田、中河原、柴田、太田とあり、前年度は太田君の「ひとりでの参加は淋しい」とあった記述が、みんなの参加で元気な様子となったのだろう。

湯河原は市役所近くの公園が休憩地となり、町から冷たい飲み物と町長の挨拶があり、いつものこととはいえ天気もよく和やかな雰囲気を作り出した。私は濡れた大きな旗を広げて乾かし、組合せの悪い旗の部品を削って直した。毎年、神奈川から静岡への引継ぎは平日となる。

来年はぜひ複数の仲間たちが静岡に引き継げるよう参加を呼び掛けよう。世界中で「核兵器の廃絶」は大きな世論となり、各国での反応も日本の行進を励ましと受け取っている。ニューヨークで開かれた世界大会で各国の代表は日本への熱烈なメッセージを送ったことにも現われた。

広島、長崎へと宍川会員の熱い想いが伝わるよう平和行進が続いてきたことを感じて帰った。静岡への引継ぎは開始以来ずっと続けてきた。来年の参加は日本平和委員会の旗を持つ。宍川の旗が神奈川から静岡に渡せるようにと仲間の奮起を期待する。

神奈川から広島、長崎への世界大会参加への願いを込めて。

## 5月 事務局長会議 議事録

2011年5月10日(火) 7:20開始

司会：池上事務局次長 (敬称略)

出席者：小池(川崎宍川)・関口(川崎HC)・砂原&戸塚(柴笛)・寺田(AC横浜)・丸尾(横浜HC)・三上(こぶし)・中河原(藤沢)・蝦名(相模AC)・藤本(みずなら)・磯部(地平線)・栗田(やま++)・青柳(山ブキ)・渡辺(メグリ家)・杉山(M&C)

理事等：三上(機関誌)・池上(事務局次長)・田村(副理事長)・西川(事務局部員/記録)

【 】県連からの連絡事項(連盟ニュース5月号参照)

2011 加盟団体調査表：総会が終了次第提出して下さい。

東日本大震災：全国の「東日本大震災ボランティア登録用紙」をもとに「東日本大震災ボランティア調査用紙」を作り、メールで送ります。

千葉県連の広木氏から「ヘド口除去作業要請(石巻)/5月14日(土)」が来た。義援金：昨晚(5/9)発表では、振り込まれた金額が950万円を超えたので、全国事務局に持ち込まれた現金と合わせて1000万円を超えたと思われる。

2011年平和行進：お知らせをメール配信。家の

近くを通る時に参加を。5/7(土)に東京から宍川の旗を川崎市役所で引継ぐ(田村・磯部・宮澤)。

福島は原発の件で大変。私は農業団体に勤務、福島県の農業団体の野本氏と交流が有り。その野本さんが6/11(土)午後に、小田原に来て福島県の「農業・酪農」の現状について講演してくれる。近日中に案内が出来たので、県連盟の方々に知らせて下さい。

了解しました。

<全国からの報告>：田村

沢登り学習会：学生対象だが、若干名なら宍川会員もOKとの事。後藤理事長が責任者。

尾瀬山荘が割引券(特別優待)を出してくれる。連休後に連絡が有る予定

メディア局： ナマステメールマガジンの全国展開が始まり、宍川会員誰でも受信する事が出来る。その為にはメールアドレスの登録を。会でまとめるのではなく、個人で田村氏にメールする。コンテンツ館の利用をお願いしたい。震災の動画を発信するために、1ヶ月前倒して今月からスタートした。

<丹沢クリーンハイク>：大用

クリーンハイクの参加呼び掛けに来ました。大震災が有り実施に賛否両論が有りましたが、実施する事になると思います(最終ミーティングは5/23

(月))。例年と異なる事は、雨天の時に歩くコースを「西山林道」「戸沢林道」に「大倉尾根(堀山の家)」を追加し、実施については各会にお任せします。3回の下見をしたが登山道のゴミは殆ど有りませんが、大山の頂上直下の穏やかな藪の斜面の所に缶などがまとめて捨てられていたので、そこを重点的にお願いしたい。また、例年実施している「不動尻コース」も頑張ってお願ひしたい。

「登山道整備」は、「岳の台」ですので、クリーンハイクの方々と同じにヤビツ峠9:00集合。道具・資材は県が用意、3名の方が来て指導をしてくれます。女性の方もOKです。県からのOKが遅かったので、30名の処8名しか希望者がいませんので、各会から1~2名出して戴くと助かります。

28(土)前夜祭は例年通り見晴茶屋で実施。会費3500円(1泊2食)で、飲み物は各自持参です。定員30名ですがまだ空きが有りますので宜しく。

「水質調査」も、例年通り実施して戴く様をお願いしています。

## 【2】各会からの報告(怪我・トラブル等報告)

<川崎労山>小池秀子。42名。ヒヤリハットなし。6/26(日)の総会に向けて準備中。

<川崎HC>菊地和美。100名。新しいグループが出来た。レベルの高い縦走グループから、四季グループ、中ハイク、軽ハイク、ミニハイク、温泉グループ等がある。月に1回軽いウォーキングを計画。リハビリ中とか、高齢の方で山に行けない人に参加を呼び掛け。多数のグループに分かれていいいが、参加は自由。今度の例会山行は縦走グループが担当で、5/8(日)御嶽山・雨引山(関東ふれあいの道)に17名が参加した。

<横浜HC>丸尾真知子。50名。4/15(金)まで「山行禁止」、その後どどと山に行き始めた。久しぶりの山行でバテた人が多かった。ヒヤリハットはなし。私は今週の金曜日から個人でボランティアに行きます。今のところ労山の活動には参加出来そうにないので。

<こぶし>三上 茂。18名。こぶしのホームページを作った。教育山行、低山山行を実施。

<藤沢>中河原昭夫。97名(年度末に5名退会)。今年度中には100名いくと思う。4/24(日)に65名が出席して総会実施。山行管理規定に「車輛利用規定」を入れた。山行は多岐に亘って実施、今は雪山に多くの人が行っている。

<ナーゲル>青木義隆。22名。年度末に10名退会、4月に2名が入会。総会は4/3(日)に実施。個人山行は自粛して、月1回の定例山行に集中する事にした。会長、事務局長が交代。遠藤(新)事務局長は住所・勤務先が小田原なので、私青木が代理で出席しますのて宜しく。

<相模AC>蝦名政次(水村事務局長の代理)。32名。山行の自粛はしていないが、近場に行っている。総会が6/19(日)にあり、役員が交代する予定。

<みずなら>藤本慶子。40名。個人山行的な山行が活発だった。5月連休は山スキーが多かった。雪

崩に遭わなくて良かった。

<地平線>磯部津輝子。7名。相変わらず山に全然行っていません。??ランナーズを立ち上げて走っている。那須塩原の湯煙マラソンに参加、翌日に日留賀岳(ヒルガタケ)に登った。雪が有った。隣人のカメラマンが、長野・会津の被害状況(原発)を調べているとの事で、レポートがまとまったら報告する。

<山ブキ>青柳百合子。7名。今日、平和行進<相模原~座間>コースに2名参加。年に1回のメイン登山として、今年7月末(2泊)に仙丈ヶ岳に。今そのトレーニング山行を実施中。

<M&C>中田正之。7名(女性2名含)に増えた。ITの専門料が入会したのでホームページを作る事に。山行は連盟ニュースに記載通り震災による自粛はせずに実施。ヒヤリハットはなし。

<メーグリ家>尾形 忠。9名。今日義援金を持参。連盟費の請求が来ていない。私の所に請求書を。メールでOK。

<川崎柴笛>戸塚めぐみ。34名。今日義援金を持参。ボランティアに行っている会員が多数いる。ヒヤリハットはなし。

<司会>5月連休中に事故が無くて大変良かった。初めて県連の留守宅本部をやり、労山外だったが全国で遭難事故(10名程死亡)が有り、ヒヤヒヤだった。

## 【3】その他報告<田村>

・ 三上さんが担当している連盟ニュースは、メール配信はカラーですので是非見て下さい。千葉の連盟ニュースも事務局長さんに送りましたが、ボランティアの取組が出ていますのでご覧下さい。

・ 「南会津へ出かけよう」のパンフレット(東武鉄道)が来ているので宜しく。

・ 安全登山普及指導者中央研修会開催要項が来ている。7/1(金)~3(日)国立登山研究所(立山)。神奈川は、アルパインリーダー学校関連の2名が参加予定。参加には推薦状が必要、後藤理事長に連絡を。

・ 個人的ですが、一昨日の日曜日に、元ナーゲルの神野さんからボッカを手伝って欲しいと連絡があり丹沢に。塔ノ岳には以前から石仏が3体有り、一番左側にある石仏と同じ様な石仏(20Kg強)を、神野さん、ナーゲルの方たちと行者岳に運び上げた。設置後は塔が岳に移動し、石仏の前で護摩をたいて、安全登山を祈願してもらった。この様な方(山北・東光院)がいることに感謝したいです。その時いただいた安全登山祈願のお札は、県連事務所に貼っておきます。ナーゲルの方には是非、連盟ニュースに書いてくださるよう、お願いいたします。

<ナーゲル>例会の時に聞いて見ます。

<司会>終了後会費200円で懇親会を実施。時間の有る方はご参加下さい。

## 5月 常任理事会 議事録

2011/04/25 (月) 19:15 ~ 20:10 (敬称略)

〔常任理事11名〕中山・後藤・田村・池上・三上・西川・三瓶・海輪・増田・清藤・大用  
欠席：三上、大用(部会出席)、後藤、増田、三瓶  
<連絡・報告>

(1) 2011年5月連休留守宅本部：海輪  
常任及び救助隊員の在宅確認をして、早急に各会事務局長&会代表に配信。

(2) 全国自然保護担当者会議 11月19日(土)~20日(日) 日光市交流促進センター

(3) プータントレッキング(50周年記念)は来年に延期

(4) 自然保護講座を9月17~19日(土~月)に上高地で開催予定

(5) 東日本女性登山交流集会 10月1~2日(土・日) 山形県で予定していたが、場所を変更して実施する。

(6) 臨時総会(9月)に向けて：中山

1) 県連盟規約と規約の改廃 基本的な考え方(連盟ニュース掲載)

2) 理事選出基準に関する規定の改正提案

3) 県連規約と規定の本来の役割について

4) 32期 県連盟臨時総会の召集通知

5) 県連盟規約及び規定に関する質問と意見

(7) 連盟ニュース5月号巻頭言：池上

5月号は大船渡の体験を田村副理事長に依頼。

5/2(月)迄に三上氏に送る。6月号は中山会長が担当。

(8) 広沢寺岩場の整備(後藤理事長)：田村

岳連・JFA(日本フリークライミング協会)等の団体と共同で実施。費用は関係団体対等で分担する事で協議中。県労山は、全国連盟の岩場資金を申請する。実施時期は未定。終了点を整備。

(9) 会事務所のインターネット契約(NTTコミュニケーション)の変更：田村

古い契約の為料金が高い。契約変更で料金を値下げできる。登録者の村松勝前事務局長と連絡調整する。

(10) 2011年度 ハイキングリーダー養成学校・開校式から

ロープの名称/ここでは英語の表記で覚えよう。

テキストで使われる名称と日本語の意味を理解して。

現在使われて普及している名称はそのまま使うと言う事で整理したい。

<議題>

(1) 平和大行進の旗(3本)の受け渡し：田村  
ホームページ有り([http://www.antiatom.org/peace\\_march/](http://www.antiatom.org/peace_march/))

受け取り：5月7日(土)(六郷土手公園)//田村  
受け渡し：5月19日(木)(湯河原)/中山

この間の県内の日程は下記に詳しく記載。(事務局長に連絡)

[http://www.antiatom.org/peace\\_march/wp-content/uploads/2011/04/kanagawa.pdf](http://www.antiatom.org/peace_march/wp-content/uploads/2011/04/kanagawa.pdf)

(2) 特別基金担当者会議：田村

担当者会議6月18(土)~19(日)(三浦海岸)への出席者(1名)//田村

アンケートの回答//中山・田村 2通提出  
搜索費、ドア・ツードア、3倍交付等について意見交換。

(3) 神奈川県連としての大震災への取り組み：田村

西本会長からの指示：HPに掲載する等、外部に向けた発信も行うこと。

ボランティア登録用紙が出来た(全国HPコンテンツ館)。指示はない。

全国理事会がそのまま「大震災対策本部」になっている。会議の議事録は発表されていない。

(4) 神奈川としてどうするか：田村  
個人がやる事なので、会員が何が出来て、何をやりたいか等の情報収集をやらないと県連として動けない。登録用紙、アンケートを作成・実施して、県連として出来る事を模索していく。

NGO、NPOの参加は、個人レベルで参加すべき。

災害ボランティアセンターは、団体でしか受け付けていない所が多く、その団体を労山の中で作る事が出来るか。神奈川単独では難しいのでは。

最低3泊4日、出来れば2週間レベルで、コーディネートレベルを希望して居る。

(5) 神奈川での義援金募集：西川

義援金は、震災にあった方に「すべて」をお渡しする見舞金で、支援金はボランティアをサポートする寄付金とのことではないか。

全国の義援金は、「被災した労山会員への見舞金、および労山が行うボランティア活動の支援に使う」旨を明示しているので問題ない。

全国労山は、被災地に近い地方連盟、例えば山形に拠点を作る事は可能である。

神奈川で独自に「支援金」募集については、神奈川の活動方針を決めてから実施。

8月頃に行ける様に準備、6~7月に「参加者研修」を企画・実施する。

(6) ナマステメール配信希望者の集計作業に関して：田村

4月から全国展開になり、改めてメールアドレスの集計作業を始めた。PC版とモバイル版が有り、希望のアドレスと会名を県連に送って貰う。田村氏が全て準備する。モバイル版はナシ(後日確認)

(7) 2011年半期の予定の提案：中山

9/11(日)の臨時総会に向けて7月までに準備。活動報告(3月から8月)

学習の準備 規約改正の準備 ハイキング委員会 冬山の雪崩事故防止とピーコン実習

雪崩講習会 勤労者山岳連盟 日本山岳会 雪氷学会 カナダ雪崩協会(CAA)

特定非営利活動法人「日本雪崩ネットワーク」(神奈川県西寺尾)代表者氏名：出川あずさ

関東も全国もイマイチなので、神奈川県独自(中山会長)でやるべきです。

(8) 丹沢クリーンハイク/無線配置：海輪

担当：田村（大倉本部）・中山（未定）・みずなら田村・入木田に依頼する。

ヤビツ峠は、上の小屋で実施すると中継なしでOKになる。

(9) 地震後の山情報 谷川岳：天神尾根は異常なし（中山）。熊穴沢小屋の前でテントを張っていたら、栃木南部の地震（震度5）が有り大揺れで、気持ちが悪かった。また、観光客が少なく天神のロープウェイの売店が閉まっていた（海輪）。富士山：須走で200mの雪崩があった（中山）。スバルラインは1合目までしか開いていない（海輪）。

(10) 救助隊：海輪 救助隊の総会がまだ終わっていない。クリーンハイクの無線配置はやる。

(11) 教育部：田村 リーダ学校の申込者が少なかったので、二次募集をかける事になった。事務局長会議で話す。終了した講義は後日補講する。

(12) 会計：田村  
帳簿はまだ全てつけていない。蝦名氏から預かった現金は、各部への一次予算と全国への支払いで終わる。その後、各会から120万円程の振り込みが有り、新スポへの支払いをする。

(13) HL学校の活動状況について：清藤

例年所属会は、横浜HC、藤沢、川崎HCで、受講生も6～7名。今年はみずならからも受講生あったが6名となっている。また、中高年のハイキング層の考え方が、地図・コンパスを持たなくても歩けるからと、勉強する意欲が感じられない。基本を外す事は出来ないが、専門的な事をやると頭が真っ白になってしまう様なので、徐々にステップアップしていきたい。2年位が理想と思う。

ハイキング委員会＝ハイキングリーダー学校になっているが、「委員会」は、県連盟員対象のイベントを企画するなど、ハイキング層に対する意識改革について考えて欲しい。

ハイキング委員会は、ハイカー全体に働きかける委員会である事を、部会で話して下さい。

16万円の予算については、装備をリーダー学校用として購入するとか、講師謝礼に使って下さい。

(14) 事務局：池上

今回からレジメを事務局で作る事にした。議事録もこれにそって作成する。次回からは資料を早めに出して貰い、事前に見てもらおう。次回開催日を記入する。全ての部・委員会の部会開催日も記入。

32期(下期)県連理事・役員名簿：常任理事に配布する。各会「事務局長一覧表名簿」と「加盟団体調査表」も配布する。

< 次回常任理事会 > 6月6日(月)

## 6月 常任理事会 議事録

2011/06/06(月) 19:15～21:30(敬称略)

出席：中山・田村・池上・三上・西川・増田・大用

欠席：後藤、三瓶、海輪、清藤

< 連絡・報告 >

平和大行進の旗の受け渡し：田村・池上・中山

・ 受け取り：5月7日、受け渡し：5月19日  
・ 参加：9名 ・ 全国からの連絡が遅かった。

「2011丹沢クリーンハイク」：大用ユキ子

・ 別紙「報告」を参照。・ 雨だったので2日間で78名の参加。ゴミ回収 75.4kg ・ 「登山道コース」「登山整備」「前夜祭」中止。・ 勘七沢の水質調査で、連盟員が滑落して右手首に裂傷を負う。下山後病院にて縫合。・ 感想としては、雨天時の対応を決めていたので、少人数ながら実施できて良かった。5月末は、ヒルや天候不順が多いので、秋や春の時期に変えたらどうか。

・ 大学生8名(一般)が参加しているが、一般参加はダメと言ったが、是非と言う事で参加。

・ 一般参加は中止として有ったのでやや問題有り、事前に想定して対応を決めておくべきだ。

・ 実施に当たって「会の判断」と「実行委員会(県連)の判断」の二重基準になっている。

・ 雨天時に「林道コース」に切り替わったところで、「実行委員会」が責任をもって参加者の名簿を確認すればよいのでは。

・ 「雨天」の基準についても確認が必要。暴風でも林道清掃をやるのか。基準が必要。

・ 天気予報は、当たり・外れがあるので、選択肢の中に「中止」を加えて欲しい。

会事務所のインターネット契約の変更：田村  
進めている処です。名前の頭に、「神奈川県

勤労者山岳連盟」を付けると今後の対応が楽になる。

ハイキングリーダー学校講習報告：清藤秀子  
ハイキングリーダー学校の講師の申請用紙を作った。

現在、誰が講師を居ているか分からないので、自己申請で書いてもらう。現在8名いる。15名～20名の講師スタッフを考えている。

「生徒」とは言わずに「受講生」と呼ぶべきである。

「受講生」「講師」を使う。

東日本大震災関係：中山

・ 神奈川ボランティアが、車中2泊の日帰りバスをやって居る。参加費6,000円。神奈川県が1,000万円を出して、6月下旬から8月中旬まで実施する予定なので、参加費が安くなるはず。遠野に拠点が出来て、1泊コースが出来そうです。(一般ボランティア)

・ 横浜「サポートセンター」の9階の新聞閲覧場所に、ボランティアの切り抜き記事が有ります。

・ 支援物資の登山靴、トレッキングシューズ、ザック、雨具、ヘッドランプは、実用品です。

< 議題 >

2011年6月～9月の予定(確認)：池上

・ 8/1(月)の常任理事会を7/27(水)に実施。

連盟ニュース掲載：三上

・ 巻頭言の代わりに、東日本大震災の支援、農地復旧に向けた作業支援、生活再建支援調査について載せる。

特別基金担当者会議：田村

・ 担当者会議6月18(土)～19(日)。18(土)田村氏出席、19(日)三上氏出席。

新スポ総会(6/11(土))：磯部

- ・ 代議員数4名：田村和寿氏・池上準子氏・小林悦治氏・当山利雄氏出席
- 9月臨時総会に備えて：中山
- ・ 6/14(火) 事務局長会議で、議長団依頼

- ・ 7/27(水)の常任で、総会資料(総括・方針)を確認。
- ・ 8月上旬 総会資料を印刷
- ・ 8/9(火)の事務局長会議で、総会資料を配布。

## 神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

### 川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計42名(男27 女15)平均 歳

4/29 奥多摩・天王岩(1+7)	查(1+7)	6/4-5 奥秩父・小川山(フリークライミング)
4/29-5/1 乗鞍～蓮華温泉山スキー(3)	5/14 丹沢・大山(1)	6/12 奥多摩・川乗(沢)
5/1 埼玉県・川又岩(1+1)	5/14 陣馬～高尾山(3)	6/18-19 谷川・一の倉沢
5/3-5 奥穂高岳(8)	5/14-15 燧ヶ岳山スキー(5)	6/26 総会
5/3-5 奥秩父・小川山(1+1)	5/22 奥多摩・読山行(11)	
5/4-5 奥多摩・御岳山地図測量調	5/29 クリーンハイク	
	6/4-5 御坂・三つ峠(岩トレ)	

### 川崎ハイキングクラブ

報告：川上勝夫 計100名(男50 女50)平均62歳

4/16 御正体山/道志(1)	5/3 草戸山/高尾(6)	5/29 丹沢クリーンハイク
4/17 鐘ヶ岳/東丹沢(5)	5/4 鹿倉山/奥多摩(11)	6/3-6 八甲田山～岩木山
4/17 高取山/大山(11)	5/8 御嶽山、雨引山/例会山行(17)	6/5 津久井城山 例会山行
4/20 笠ノ岩山/奥多摩(7)	5/14-15 南木曾岳(5)	6/11 浜石岳
4/24 外秩父七峰縦走/秩父(10)	5/15 生藤山、陣馬山(10)	6/18 鷹巣山
4/24 岩殿山/大月(11)	5/15 鷹取山/県連HCL学校(13)	6/17～6/19 巻機山
4/29 塔ノ岳、鍋割山/丹沢(3)	5/15 塔ノ峰～明星ヶ岳/箱根(8)	6/18 秋川渓谷
4/30-5/5 大峰奥駈道/大峰山(4)	5/15 曲岳、太刀岡山(8)	6/29-30 霧が峰
5/3-6 遂ヶ岳、至仏山、笠ヶ岳(4)	予定	

### 川崎柴笛クラブ

報告：砂原浩二 計35名(男23 女12)平均48歳

5/2-4 桐池白馬(1+1)	5/14 教育山行「無線」	5/21 鎌倉山(1)	5/29 クリーンハイク(1)
5/3-5 唐松岳・五竜岳(5)	塔ノ岳(8)	5/21 つづら岩(1+1)	6/4 鹿島大谷原(4)
5/3-5 白馬岳主稜(2)	5/14 鎌倉山(1)	5/21-22 金鷄山・金洞山	6/4 鹿島東尾根(4)
5/4 武川岳(1)	5/14-15 雲取山(1)	(1)	6/4 鹿島槍(4)
5/8 川海苔山(5)	5/15 甲府幕岩(3+2)	5/22 浅間峠トレラン(1+1)	6/5 鹿島慰霊祭(13)
5/8 不老山(1+2)	5/15 道志山塊トレラン	1)	6/4 瑞牆山(2)
5/7-8 立山(1)	(1+1)	5/29 小川山(1)	6/5 城山(2)
5/8 鎌倉山(1)	5/15 滝子山(1+3)	5/29 大山(1)	
5/10 川海苔山(1)	5/15 三ツ峠(2)	5/29 クリーンハイク救	
5/14 妙義白雲山(1)	5/21 白妙橋(2+3)	助隊(3)	

### アルパインクラブ横浜

報告＝岸 直哉 計38名(男23：女15)平均 歳

5/1 西穂高岳・独標(1+1)	5/4-5 瑞牆山・金峰山(2)	5/25 鳥屋待沢(1+1)
5/3-4 尾瀬燧ヶ岳(3)	5/7-8 小川山(2)	5/25-26 爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳(2)
5/3-5 小川山(2)	5/15 道志村トレイルレース(1)	5/28 丹沢・水無川本谷(沢講習会)(10+1)
5/3-6 小川山(2+10)	5/18-20 北穂高・奥穂高(3)	
5/3-8 小川山(1)	5/21 広沢寺(4+1)	
5/4 三俣山(九重)(1)	5/22 杓子山(1+30)	

### 横浜ハイキングクラブ

報告＝丸尾真知子 計52名(男20：女32)平均63.5歳

5/12 室内例会(27)	(県・12)	5/5 城山～発端丈山(5)	5/16-19 北アルプス・槍ヶ岳(2)	5/24-27 屋久島(1)
5/2 高畑山～倉岳山(6)	5/28 丹沢(水質検査用採水・4)	5/8 三ノ塔(1)	5/18 曲岳・黒富士・太刀岡山(1)	6/9 室内例会
5/8 鋸山(13)	5/2 両神山(1)	5/10 両神山(1)	5/21 本社ヶ丸・鶴ヶ鳥屋山(下見1)	6/5 塔ノ岳
5/22 牛奥ノ雁ヶ腹摺山(4)	5/4 牛奥ノ雁ヶ腹摺山(2)	5/14 宮地山～セマホン(3)	5/22 蓑毛～下社～日向薬師(1)	6/11 小網代の森
5/24-27 屋久島(3)	5/4 塔ノ岳・蛭ヶ岳(1)	5/15 丹沢・後沢乗越(下見1)		6/12 本社ヶ丸～鶴ヶ鳥屋山
5/15 湘南・鷹取山				6/19 鍋割山

3. 事務局長会議で取上げて欲しい話題/被災地へのボランティア派遣(予定、活動内容)

### 横浜こぶしの会

報告＝三上茂 計20名(男14人 女6人)平均 歳

5/12 室内例会(7)	5/21-22 両神山(4)	6/3-5 屋久島(1+1)	6/11 沢トレ
5/14 広沢寺・岩トレ(7)	5/24 役員会(4)	6/4-5 HCL学校(2)	6/18 高麗山
5/15 HCL学校(2)	5/29 クリーンハイク(2)	6/9 室内例会(13)	6/28 役員会
5/16 塔ノ岳(1)	6/4-5 鳴虫山(4)	6/10 檜洞丸	



## 藤沢山の会

報告=中河原昭夫

計98名(男43:女55)平均64歳

5/2-4 尾瀬・景鶴山、平ヶ岳(3)	5/11 室内例会(40)	5/21 箱根伊豆・万次郎、万三郎岳(会ハイク・14)	6/4 丹沢・塔ノ岳(3)
5/2-5 奥秩父・和名倉山(8)	5/13-16 北ア・西穂独標、乗鞍岳(5)	5/22-23 丹沢・広沢寺(教育・遭対部岩実技・15)	6/4 丹沢・大室山(1・他)
5/3-5 奥秩父・金峰山-甲武信岳(5)	5/14 奥多摩・高水三山(会ハイク・7)	5/21 富士周辺・幻の滝・ゲラト・キャニオン(8)	6/4 奥秩父・太刀岡山(岩登り実技・6)
5/3-6 尾瀬・燧ヶ岳、至仏山(1・他)	5/14 北関東・足利行道山(3)	5/22-23 箱根・神山(5)	6/5 奥多摩・戸倉三山(1・他)
5/4 南関東・森戸川源流(22、他 天ぶら山行)	5/14 丹沢・塔ノ岳(4)	5/25 室内例会(42)	6/7 機関誌印刷・発行(14)
5/7 大菩薩・羅漢寺山(1・他)	5/14 北関東・榛名天狗山(1)	5/28-29 東北・会津磐梯山(1・他)	6/8 室内例会
5/7 北関東・大小山(5)	5/15 丹沢・雨山(4)	6/1 運営委員会(12)	6/9-10 北関東・皇海山(1・他)
5/7 大菩薩・雁ヶ腹摺り山~大樺沢ノ頭(15)	5/15 南関東・鷹取山(県HL・2他)	6/1 丹沢・沖ビリ沢・縦ノ木沢(1・他)	6/11 富士周辺・鶴ヶ鳥屋山(19)
5/9 箱根伊豆・明星ヶ岳、塔ノ峰(3)	5/16 入会説明会(1)	6/1 丹沢山(1)	6/12 奥秩父・帯那山(5)
5/10 機関誌印刷	5/16-17 平和行進(4)	6/1 伊豆・天城山(2)	6/18 富士周辺・愛鷹山(ヒハイク訓練)
	5/18 岩座学	6/3 丹沢・檜岳(4)	6/22 室内例会
	5/20 丹沢・世附川金山、沢沖ビリ沢(1・他)	6/4 丹沢・湯舟山、不老山(会ハイク・17)	6/26 丹沢・葛葉川本谷(沢登り実技)

## 相模アルパインクラブ

報告:水村和也

計32名(男24:女8)平均 歳

4/24 丹沢三峰(1)	5/4 畦が丸(1)	5/8 兜岩(2)	5/15 檜洞丸(読図)(7)
4/22-24 西穂高岳(1)	4/29-5/5 群馬県の有笠・中里の岩場(2)	5/8 塔ヶ岳(1)	5/19 兜岩(5)
4/24 高取山-仏果山-経ヶ岳(1)	4/30-5/5 剣 小窓尾根(1)	5/9 河又(1)	5/21 甲府幕岩(3)
4/29 四十八瀬川(2)	5/4-5 両神山・赤岩尾根(2)	5/8-10 飯山-塔ヶ岳-山中湖(1)	予定
4/29-5/1 小川山(1)	5/1-6 堂津岳・蕎麦粒山・五蛇池山・赤坂山(1)	5/13 広沢寺(2)	5/21-22 甲府幕岩(2)
4/28-5/1 山伏-七面山(2)	4/29-5/6 日本オートルート(1)	5/14 菰釣山~椿丸(1)	5/22 マスキ嵐沢(6)
4/29-5/1 二子山 中里(1)		5/14 黒岩聖人岩(1)	5/26-28 奥穂高岳(1)
5/3 丹沢・玄倉川ユースン溪谷(2)		5/14-15 道志山塊(1)	5/27-29 西岳・荒倉山(1)
		5/15 幕岩(県連L)(1)	

## みずなら山の会

報告:藤本慶子

計40名(男26 女14)平均60歳

5/11 例会(25)	5/21 御前山(2)	5/28 水質調査(3)	6/4-6 甲武信岳~金峰山~富士見平(5)
5/14 読図ハイク(8)	5/21 戸沢~塔の岳(2)	5/29 CH戸沢林道(6)	6/5 新茅ノ沢~大柵滝(4)
5/15 滝子山(5+1)	5/21 雷平-大滝-丹沢-蛭ヶ岳-伝道(1)	5/31-6/11 インドネシアトレッキング(1+1)	6/8 例会
5/20-22 山スキー乗鞍岳(9)	5/22 広沢寺 岩トレ(10)	6/3-4 ヒエ平-常念岳(1)	
5/20-22 ハイク乗鞍岳(2)	5/22 城山 岩トレ(2+2)	6/4-5 岩トレ 小川山(4)	

## カモの会

報告:森谷準一

計61名(男38:女24)平均35.5歳

5/2 北ア 奥穂南稜/北穂東稜(2)	5/4 日光 鳴虫山(3)	5/8 御岳山(1)	5/15 読図山行 西丹沢/椿丸(15)
5/3 甲斐駒&仙丈(1+3)	5/5 独鈷山(1)	5/14 高尾山(2+2)	5/21 佐久ノ湯川(8)
5/3 燕岳~常念岳(2)	5/5 藤原岳(1)	5/14 燧ヶ岳(1+4)	5/22 丹沢/水無川本谷(7)
5/3 小川山、金峰山(10)	5/6 藤原岳(1+3)	5/14 六ツ石山・鷹ノ巣山(1)	
5/3 北ア 剣岳源次郎尾根(3)	5/7 西上州・諏訪山、烏帽子岳(1+1)	5/14 越沢バットレス(2)	
	5/8 丹沢/塔ノ岳(3)	5/14 山梨/甲府幕岩(2)	

## やま + +

報告:栗田 彰

計14名(男11:女3)平均52歳

5/11 例会	5/14 モミソ岩RCT(8)	5/25 例会	6/8 例会
5/15 富士山BCスキー(2)	5/21-22 硫黄岳(4)	6/4 袈裟丸山	6/22 例会
		6/5 七面山	

## 山ブキの会

報告:青柳百合子

計7名(男:女7)平均65歳

4/2 高尾山~景信山	4/23 大山三峰(中止)	5/20 高尾山
4/6 花立	4/30 高尾山	5/24 弘法山
4/17 生藤山	5/3 陣馬山	5/27 弘法山

## M &amp; C

報告:岡崎広士

計7名(男5:女2)平均 歳

5/4-8 剣岳北方稜線(1+1)	5/14 幕岩(1+2)	5/21 甲府幕岩(4)
5/5 二子山(3)	5/15 城山(1+3)	5/22 湯河原幕岩(2+5)
5/5 城山(1+2)	5/15 鷹取山(1+1)	5/29 クリーンハイク

## 県連のスケジュール

6月			7月			8月		
1	水	アハ°イリ-ダ°-学校机上	1	金		1	月	
2	木		2	土		2	火	
3	金		3	日		3	水	アハ°イリ-ダ°-学校机上
4	土	HCL学校実技 1 泊山行	4	月	常任理事会	4	木	
5	日	HCL学校実技 1 泊山行	5	火		5	金	
6	月	常任理事会	6	水	アハ°イリ-ダ°-学校机上	6	土	
7	火		7	木		7	日	H C L 学校実技・沢
8	水		8	金		8	月	連盟news印刷
9	木		9	土		9	火	事務局長会議
10	金		10	日	アハ°イリ-ダ°-学校実技	10	水	
11	土		11	月	連盟news印刷	11	木	
12	日	アハ°イリ-ダ°-学校実技	12	火	事務局長会議	12	金	
13	月	連盟news印刷	13	水		13	土	
14	火	事務局長会議	14	木		14	日	
15	水		15	金		15	月	
16	木	HCL学校机上講習	16	土		16	火	
17	金		17	日		17	水	事務局部会
18	土		18	月		18	木	
19	日		19	火		19	金	
20	月		20	水	事務局部会	20	土	アハ°イリ-ダ°-学校実技
21	火		21	木	HCL学校机上講習	21	日	アハ°イリ-ダ°-学校実技
22	水	事務局部会	22	金		22	月	
23	木		23	土	HCL学校対°シヨ企画	23	火	
24	金		24	日	HCL学校対°シヨ企画	24	水	
25	土		25	月	自然保護委員会	25	木	
26	日		26	火		26	金	
27	月	自然保護委員会	27	水	8 月度常任理事会	27	土	
28	火		28	木		28	日	
29	水		29	金		29	月	自然保護委員会
30	木		30	土		30	火	
			31	日		31	水	

### 2011年度の全国的な規模の集会・会議予定

確保の基礎技術講習	6/19 10/2 12/4(相模原市)
全国基金担当者会議	6月18日～19日(神奈川・三浦)
労山創立50周年記念	6月20日～7月4日(予定)
全国山岳遭難対策協議会	7月(東京・)
全国ハイキング交流集会	9月17日～18日(静岡・伊豆長岡の予定)
自然保護講座	9月17日から19日(上高地)
東日本女性登山交流集会	10月1日～2日
全国救助隊交流集会	10月1日～2日
全国自然保護担当者会議	11月19～20日(日光市)